

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスマリヤマ		
事業所名	グループホーム花 ヌユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-11		
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果市町村受理日	平成25年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・広い畑があり、作物の成長と収穫を楽しめている。
・行事や屋外作業を多く取り入れて季節感を感じてる。
・掃除等を入居者様と職員が行い、きれいな施設と環境を目指している。
・地域との繋がりを大切にしている。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0172902587-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=0172902587-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<b>&lt;認知症に対する理解や啓発への取り組み&gt;</b> 認知症に対する理解や啓発の為に、地元女子高校での研修会の実施や地域の人々を対象にした勉強会を実施し、事業所の持つ専門性を地域に還元している。また、事業所主催の夏祭りの開催や地域のフラワーロードへの参加で地元の人々と花植えで協力したり、地域の夏祭り参加や高校生のボランティアの受け入れ等で日常生活を通じて利用者と接する機会を設けて、認知症の理解への広報活動に取り組んでいる。
<b>&lt;本人を共に支え合う家族との協力関係&gt;</b> 家族会と協力して、畑の苗植えや夏祭り開催、来訪し易い環境づくりなど協力関係づくりに取り組んでいる。また、本人と家族と一緒にお墓参りや温泉に出かける支援や毎月「花だより」の発行や個別に近況報告・健康状態等の便りで情報提供し、家族との信頼関係を構築していることが「家族アンケート」の結果からも伺える。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年一回理念についての勉強会を開き、指針の明確化するとともに、理念を基にした各自の取り組みも明確にしている。</li> <li>・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。</li> <li>・運営推進会議の開催、家族会の開催、町内会の参加、地域ボランティアへの参加により、施設、家族、地域の方々との交流を通じ、互いの想い、考えを理解する機会を作り、理念の浸透に努めている。</li> </ul>	<p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくりあげ、ユニット毎の毎月の目標を明示し、理念を共有し、その実践につなげている。また、職員一人ひとりの個別の年度の目標設定し、家族や来訪者等に見やすい場所に掲示し、広報に活かしている。</p>	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の役員や班長などを務め、互いの意見の交換の場を作っている。</li> <li>・花主催の夏祭りの開催や地域のお祭りに積極的に参加して交流の場を作っている。</li> <li>・運営推進会議を開催し地域の方々との交流を重ね、互いの想い、考えを理解する機会を作っている。</li> </ul>	<p>夏祭りの開催や地域のフラワーロードへの参加、地域の夏祭り参加や高校生のボランティアの受け入れ等で日常生活を通じて利用者や接する機会を設けて交流に取り組んでいる。また、認知症に対する理解や啓発の為に、地元女子高校や地域の人々を対象にした勉強会を実施し、事業所の持つ専門性を地域に還元している。</p>	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域住民の皆さんを対象に、認知症の勉強会を開催している。</li> <li>・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。</li> </ul>		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の開催することにより、地域行事(フラワーロード事業、地域のお祭り等)への参加しやすい環境を整えている。</li> </ul>	<p>年6回を目安に運営推進会議を開催し、利用状況や行事開催の案内など具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。</li> <li>・市や道に対する報告事項も適正に行なっている</li> </ul>	<p>市担当者とは、日常業務を通じて指導・助言を得ながら情報交換を行い、連携を深めるように努めている。</p>	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の方針として身体拘束は行わない。</li> <li>・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。</li> <li>・夜間以外は玄関の鍵をかけることはなく、入居者様が外に出たい時は職員と一緒に出ている。</li> </ul>	<p>指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を内部研修会の開催を通じて正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。</li> <li>・精神面のフォローとして、役席によるスタッフへのカウンセリングを行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性がある入居者様について、施設長を中心に各ユニット役席が話し合うことにしている。 ・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時には、十分な説明を行い理解・納得を図るとともに、その後についても施設として互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点について都度説明をしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会があり、家族会主催の行事(苗植えの会)を開催して、準備の段階を含めてご家族様とスタッフとの親交を図っている。 ・家族会総会を毎回「花のクリスマス会」同日に行い、苦情、事故、行事等の報告や要望を聞き対応するとともに、親交も図っている。 ・定期的に行なわれている運営推進会議に、入居者様とご家族様にも参加していただき、意見をいただいている。 ・日常生活で入居者様の不満苦情の言いやすい環境に気を配っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。	家族会と協力して、畑の苗植えや夏祭り開催、来訪し易い環境づくりなど協力関係づくりに取り組んでいる。また、本人と家族と一緒に墓参りや温泉に出かける支援や毎月「花だより」の発行や個別に近況報告・健康状態等の便りで情報提供し、家族との信頼関係を構築していることが「家族アンケート」の結果からも伺える。また、家族会の開催時で意見交換やクリスマス会で家族が参加し、意見や苦情等を言い表せるように機会を設けている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や月一回全体会議やユニット会議で職員の意見を聞き、業務に反映している。	内部研修会の開催や全体会議、日々の申し送りを通じて意見や要望、提案を聞くよう機会を設けている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・職員に対して、内外の研修に積極的に参加できる機会を作っている。 ・資格試験の合格者に対して報奨金を与え全体会議で表彰している。 ・職員は、休憩時間に隔離された休憩室や個人の車の中など、各自自由にリフレッシュできる環境で過ごしている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、動きながらトレーニングしていくことを進めている	・全体会議、事例検討会、内部研修を月に一度づつ開くとともに、外部研修も積極的に参加している。 ・運営者が会議や申し送り等に参加し、職員の状況を把握し、レベル向上に取り組んでいる。 ・資格試験の合格者に対して表彰を行い、合わせて報奨金を与え意欲向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他グループホームの運営推進会議に出席し意見交換の場を設けている。 ・外部組織主催の研修会を通じ、他施設との交流を図っている。 ・お祭りなどの行事を通じて他のグループホームとの交流をしている。 ・グループホーム協会に属し、意見交換を通じて向上心をもった運営に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居前に見学や家庭訪問を通じ、ご本人の身体や生活状況を確認して問題点を掴む努力をしている。何が困っているのか、不安なことや要望等を聞いています。信頼に向けて、言葉掛けに注意しながら関係作りに努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居前に見学や家庭訪問、電話での聞き取り等を通じ、ご家族様の希望やご本人生活状況を確認して、不安な点を掴む努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居前入居時にご本人の状況を観察して、スタッフ全員で検討しながら、その時の必要な支援を行える様に努めている。ご家族からも十分に時間を頂き意見を聞いています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・掃除、洗濯たたみや洗濯干し、炊事、畑作業などの日常生活を一緒に関わる事により、互いに歩み寄って良い関係を築いている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族会主催の畑の苗植え行事を開催して頂いている。また、夏祭りなどの行事でもお手伝いして頂いたり、他の行事を通じても家族と力を合わせて、入居者様の支援に協力し合う関係を築いている。入居者様の近況報告と行事の様子をお便りにして、月一回、家族に送っている。また、電話や来訪時には、話し合える環境を設けて、入居者様を支えて行く関係を築いている。		
20	8	馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族や知人、町内で交流を深めて来て、馴染みになった方などが、いつでも来訪して頂ける様に、笑顔で明るく感じの良い雰囲気や挨拶する様に努めています。年賀状や手紙、電話等で関係が途切れない様に支援に努めている。	地域のフラワーロードや夏祭り参加、友人・知人等の訪問支援やお墓参り・初詣など馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・入居者様の性格や行動等を観察して座席の位置を考えて、入居者様同士が関わり合い支え合える関係になる様配慮している。 ・入居者様同士で掃除、洗濯たたみや洗濯干し、炊事、畑作業等、日常生活を一緒に関わる事によって、互いにコミュニケーションが取れる環境に努めている。 ・風船を使った遊びや歌を歌う等、入居者様と職員も一緒になって何か出来る遊びをして楽しく過ごしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、花にお茶を飲みに来たり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・好きな事や嫌な事を配慮し支援に努めている。日常生活の中で観察したり、家族にお話を聞いたりして、ご本人の立場になって考えている。申し送りや介護記録、会議等で職員間情報を共有し、入居者様の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	トイレでの排泄や排泄パターンを把握した自立への取り組みや歯磨き、食事をどのようにして食べられるのか等日常生活に必要なことを普通にできる様に管理者・職員間で共有し、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・個人情報ファイルの把握や追加に努めている。 ・入居時のアセスメントで情報を得て、職員間で共有している。 ・本人の住みやすい生活が送れる環境に取り組んでいる。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎日のバイタル測定や水分摂取量、排便等の身体状況の把握に努めている。生活状況や体調の申し送りをして話し合い、職員間で的確に情報伝達や共有をおこない現状の把握に努めている。 ・新しい有する力を発見した時は、申し送りや会議で話し合いケアに生かしている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人様の日常の状況を観察して、困ったことや要望を聞き、家族にも意見を聞いている。職員と連携してモニタリングを行い、ミーティングやカンファレンス等で、その方のふさわしい生活について検討して介護計画に反映させている。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、センター方式の活用や本人、家族の意見、カンファレンス、モニタリングを通じて独自に職員の意見を反映できる機会を設けて現状に即した介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・職員間での情報の共有は出来ているが、ケアプランに沿った実践と介護記録の記入に、書く様に努めてもいますが、もっともって皆の思いが伝わる実践が足りない様な気がする。 ・月に一度、入居者様の気付きと振り返りをして、会議で話し合いを行い努める様にしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・旬の行事を数多く行い、外出する機会も取り入れているなど、事業所独自のサービスを重視している。 ・ボランティアや地域資源を生かした取り組みに努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近所の商店に買い物に行ったり、近くの神社や公園を利用して楽しみを広げるよう努めている。 ・地域のお祭りに積極的に参加して入居者様スタッフ共に楽しんでいる。 ・困った事があれば、地域の民生委員、地区社協、町内会の方々に気軽に相談している。 ・地域包括支援センターと何かあれば互いに相談している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご本人様及びご家族様希望に合わせてかかりつけ医を選択している。電話での連絡を取り合い看護師と医師の連携で情報を共有しながら、適切な医療を受けられる様に努めている。	医師の往診や訪問看護の利用、常勤する看護師との連携で適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週1回来る訪問看護師に、入居者様の日常生活様子や身体状況について細かく伝えて、受診往診がスムーズ受けられる様に配慮している。 ・職員に看護知識を有した者がいる。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院した際は、ご本人の状況などを入院先に伝えていく。病院関係者からも情報収集を行い、入院によるダメージ等を把握と早期退院が出来る様に努め、また、退院時には、引き継ぎが出来る様に努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・重度化した場合や末期のあり方について、ご家族とかかりつけ医、訪問看護師、グループホームと話し合い支援に取り組んでいる。	現在まで、3名の看取りを実践し、重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら、家族や医療関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急対応マニュアルがあり、職員全てが確認出来る場所に設置してある。内部研修にて急変や事故発生時の対応方法の訓練を行っている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、地域の方にも参加していただいている。またこのとき消防設備業者に来ていただき、設備点検と職員に対する設備仕様説明を行い、勤務者全員が火災報知機の作動させたり、消火器による消火訓練を行っている。 ・夜間想定火災避難訓練を何度も行い、全ての職員が夜間対応の訓練を行っている。	火災避難訓練を年2回、地域の協力を得て実施している。また、スプリンクラーや報知器等の設備の点検や実際の消火訓練、昼夜を想定した避難訓練も実施している。	
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりに合わせて、言葉の掛け方や声のトーンを意識して対応してはいますが、言葉掛けに適切とは思えない時もある。誇りやプライバシー、羞恥心に配慮する対応に努めている。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように身体拘束廃止等の内部研修開催で職員間で周知している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ご本人の思いを聞いて尊重する様に努めている。ご本人様の認知度に合わせて選択して頂いたり、決定しやすい様に働きかけています。また、何でも言える雰囲気作り心掛ける様に努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入居者様、一人ひとりのペースで自由に生活してしている様に感じます。その人らしい暮らしを支援する様に心がけています。食事や入浴、おやつは、決まった時間や曜日になっていますが、その日の体調や希望がある時は、個別の対応をしています。希望をお聞きして歌やゲーム、散歩等をして楽しむこともしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご本人様が自由に衣服を選んでいきます。困難な方には、その人らしい衣服を選んでいきます。行事や外出、入浴の準備では、ご本人様と一緒に衣類の用意もすることもあります。行事や外出では、身だしなみのチェックとお化粧をする様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・入居者様と職員で協力して食事を作ったり片付けを楽しい雰囲気で行っている。メニューボードに一日の献立を書き、リビングに飾り、話題にしている。週に一度、入居者様が自由に献立を考えて、買い物をして、調理を職員と一緒に楽しく行っている。また、食卓での会話も弾んでいます。畑で作った野菜を入居者様にも収穫して頂き、一品増やして収穫の喜びを、食事中の話題にすることもあります。	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの嗜好の把握・好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に食事の準備や盛り付け、食事や後片付けをしている。また、畑で栽培した野菜の収穫やメニューの掲示など工夫し、食事摂取量や水分摂取量を把握している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・入居者様の状態や力に合わせて、食事量や形態、水分量を考えて支援しています。食事や水分で好みを考えることもしています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・一人ひとりの状態に応じて、朝、食後、就寝時に口腔ケアを行っている。出来ない部分を介助している。また、義歯の方には、就寝時に洗浄剤に浸け、口腔内の清潔保持をしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・排泄パターンを把握して自力で排泄して頂ける様にしています。トイレ誘導や声掛けで、失禁を減らし、自力で排泄が行える様に支援している。	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・排便状況や食事、水分摂取量の把握に努めている。乳製品での工夫や果物の提供と体操、家事や散歩等からだを動かしている。また、便秘がどう影響するかを理解し、薬での調整をする入居者様もいる。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・入浴日は週3回あり、曜日や時間帯は決まっている。入る時間、お湯の温度、仲の良いお友達と一緒に入る希望に沿える様に対応に心掛けている。ご本人様の体調やタイミングが合わない時は、無理をせず、翌日入ることもあります。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて週3回を目安に入浴を楽しむことができるように支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・散歩や体操、家事でからだを動かして頂いて、夜間に眠れる様に努めています。夜間は、一人ひとりの臥床時間に合わせて支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・医師や薬局と連帯して薬の処方等を受診往診記録と申し送り職員が把握出来る様にしている。薬の変更時の症状の変化と観察で、入居者様を守る様に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・一人ひとりに合った得意なことや好むことで、役割を持って頂き、家事や畑作業等で中心になって、力を発揮して頂ける様に支援しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1,2回食材や日用品の買い物に出掛けています。ご本人の希望があれば出掛けます。外出の行事も計画して、買い物や食事、ドライブなど実施している。</li> <li>・地域の行事やお祭り、活動に参加したり、園児や高校生と交流をして深めてきた。</li> <li>・家族と共に墓参り、外泊、温泉などに出席している。</li> </ul>	<p>家族会と協力して、畑の苗植えや夏祭り参加、本人と家族と一緒に墓参りや温泉に出かける支援、買い物や散歩、日光浴や野菜の収穫などで戸外に出かけられるように支援している。また、初詣や雪祭り見学、地域のお祭り参加や高校生との交流等で普段は行けないような場所でも出掛けられるように取り組んでいる。</p>	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を所持している方は現在5人です。他の入居者様は、買い物や行事の時に持って行き、お金を使える様に支援しています。</li> </ul>		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があればいつでも電話を掛けれる様にしています。また、家族への電話を促すこともします。携帯電話を持っている入居者様もいます。</li> <li>・手紙や年賀状のやり取りを支援しています。</li> </ul>		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルには花が飾られて、壁には行事の時の写真を飾って季節感を感じます。居室やリビングは日当たりが良いです。不快な臭いやうるさい音がない様に注意している。</li> </ul>	<p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮している。また、一人になったり、談笑できるように椅子やソファが配置される等利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングには、食卓テーブルとソファがあり、事務所前にもイスがある。気の合った方と会話したり、一人になりたい時の場所があったりと自由に過ごせる様に工夫されている。</li> <li>・仲の良い入居者様同士でお風呂に入ることもある。</li> </ul>		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しんだ家具、思い出の物を持って来て頂き、心地良く暮らして頂ける様に配慮している。入居者様の以前から使用していた物などを持って来て頂き、入居前の生活に近づける様な感じにすることも多い。</li> </ul>	<p>居室には、使い慣れた家具や寝具が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内は、事故のなく自分の力が発揮できる様に家具などで配置を工夫している。</li> </ul>		



## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	・皆さんと楽しく何かをする時間がまだ少ない。	・各スタッフが時間の配分を見直し、少しの時間でのコミュニケーションを取り方を工夫する。 ・入居者様と家事等をする時間を増やすため、スタッフと一緒に取り組む家事等の割合を上げる。	・歌をうたったり運動を皆でする。 ・話題を出来るだけたくさん考えて、たくさんお話しする。 ・一人ひとりの得意な事を把握に努める。 ・一緒に取り組むことが出来ることは一緒に行う。	1年
2	27	・ケアプランに沿った記録書きが以前より出来ているが、ケアプランを把握が不十分であり、まだ書き込み量が少ない。	・ケアプランに沿った支援を行い、介護記録をケアプランに沿った記録書きをする。	・夜間や業務開始前の時間にケアプランの把握に努める。 ・入居者様担当が主導的に申し送り等で進捗状況を話し合う。	1年
3	36	・入居者様が不快にならない言葉づかいや注意がまだ足りない。	・入居者様が不快にならない言葉使いや内容をスタッフ同士が牽制し合う	・その時々を意識的な言葉づかいや声のトーンの使い分けを行う。 ・入居者様の前でスタッフ同士の私的な話をしない。また出来るだけ業務の話をさける。	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社オフィスマリヤマ		
事業所名	グループホーム花 Bユニット		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1-20		
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果市町村受理日	平成25年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い畑があり、作物の成長と収穫を楽しめている。</li> <li>・行事や屋外作業を多く取り入れて季節感を感じてる。</li> <li>・掃除等を入居者様と職員が行い、きれいな施設と環境を目指している。</li> <li>・地域との繋がりを大切にしている。</li> </ul>
---

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172902587-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0172902587-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年一回理念についての勉強会を開き、指針の明確化するとともに、理念を基にした各自の取り組みも明確にしている。</li> <li>・朝夕の申し送り等で理念を読み上げ、全ての職員が理念を身近なものとして感じられる機会を作っている。</li> <li>・運営推進会議の開催、家族会の開催、町内会の参加、地域ボランティアへの参加により、施設、家族、地域の方々との交流を通じ、互いの想い、考えを理解する機会を作り、理念の浸透に努めている。</li> </ul>		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の役員や班長などを務め、互いの意見の交換の場を作っている。</li> <li>・花主催の夏祭りの開催や地域のお祭りに積極的に参加して交流の場を作っている。</li> <li>・運営推進会議を開催し地域の方々との交流を重ね、互いの想い、考えを理解する機会を作っている。</li> </ul>		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域住民の皆さんを対象に、認知症の勉強会を開催している。</li> <li>・地域の皆さんからの施設選びや認知症対応についての相談を受けている。</li> </ul>		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の開催することにより、地域行事(フラワーロード事業、地域のお祭り等)への参加しやすい環境を整えている。</li> </ul>		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に対して、分からない点、疑問点を放置せず、都度確認しながらコンプライアンスの維持に努めている。</li> <li>・市や道に対する報告事項も適正に行なっている</li> </ul>		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の方針として身体拘束は行わない。</li> <li>・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。</li> <li>・夜間以外は玄関の鍵をかけることはなく、入居者様が外に出たい時は職員と一緒に出ている。</li> </ul>		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の外部研修への参加や施設内での勉強会を行い、身体拘束について考えたり話し合ったりする機会をもうけている。</li> <li>・精神面のフォローとして、役席によるスタッフへのカウンセリングを行っている。</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・必要性がある入居者様について、施設長を中心に各ユニット役席が話し合うことにしている。 ・必要性が認められる入居者様には、関係者と話し合い、後見人を選任していただいている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時には、十分な説明を行い理解・納得を図るとともに、その後についても施設として互いに話しやすい環境提供に努め、疑問点について都度説明をている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会があり、家族会主催の行事(苗植えの会)を開催して、準備の段階を含めてご家族様とスタッフとの親交を図っている。 ・家族会総会を毎回「花のクリスマス会」同日に行い、苦情、事故、行事等の報告や要望を聞き対応するとともに、親交も図っている。 ・定期的に行なわれている運営推進会議に、入居者様とご家族様にも参加していただき、意見をいただいている。 ・日常生活で入居者様の不満苦情の言いやすい環境に気を配っている。 ・ご家族様に対し、ケアプラン更新時に書面にて苦情要望等の情報を収集して対応している。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎日朝夕の申し送り時や月一回全体会議やユニット会議で職員の意見を聞き、業務に反映している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・キャリアパス制度を導入するとともに、毎年10月に職員の昇給昇格を行っている。 ・職員に対して、内外の研修に積極的に参加できる機会を作っている。 ・資格試験の合格者に対して報奨金を与え全体会議で表彰している。 ・職員は、休憩時間に隔離された休憩室や個人の車の中など、各自自由にリフレッシュできる環境で過ごしている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・全体会議、事例検討会、内部研修を月に一度づつ開くとともに、外部研修も積極的に参加している。 ・運営者が会議や申し送り等に参加し、職員の状況を把握し、レベル向上に取り組んでいる。 ・資格試験の合格者に対して表彰を行い、合わせて報奨金を与え意欲向上に努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他グループホームの運営推進会議に出席し意見交換の場を設けている。 ・外部組織主催の研修会を通じ、他施設との交流を図っている。 ・お祭りなどの行事を通じて他のグループホームとの交流をしている。 ・グループホーム協会に属し、意見交換を通じて向上心をもった運営に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・利用開始前には、数回ご本人との面談を行いその中で、事前情報との照らし合わせをしている。 ・面談の中で、ご本人からの想いを引出し困っていることや要望などを読み取る努力をしている。 ・またコミュニケーションをとりながら、顔なじみとなり関係を深められるように努力をしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・利用開始時には、入居者様とご家族様との面談を通して、今までの生活状況を含めてお話しをしていただけるように努力をしている。特に入居生活においての要望は、充分にお聞きしてその要望に対してどのように答えられるかを含めてお話しをしている。良いことも、悪いことも含めて伝えていただけるような関係づくりが出来るように努力をしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・認知症によって支障をきたしている生活障害の部分と、残された力をどのように生活に生かせるかを合わせてアセスメントするよう努力をしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・個々の力に合わせて家事参加をおすすめし、スタッフと共に行う環境を作っている。 ・ご本人と話し合い、何をしたいかを決めて一緒にすべての家事を行っている。 ・互いに気が合う者同士が、気持ち良く一緒に過ごせるように支援している。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・御面会時には、積極的に生活の様子を報告をしたり、ご家族様のお気持ちをお聞きしたりして信頼関係を深められるように努力をしている。また、ご家族様と一緒にご本人を支える環境ができるように支援している。 ・ご家族さまからどんなことでも、お話しして頂ける関係づくりに努力している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・個々の要望に合わせて支援が出来るように努力をしている。 ・ご面会にいらした際には、ご本人と共に過ごしやすい環境となるように、支援している。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・気の合う者同士が、隣合うように支援している。 ・落ち着いた場所で過ごせるように、配慮している。 ・家事の参加や、レクリエーションなど共に楽しく過ごせる様な時間を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・長期入院で退去したり、亡くなったりした利用者様のご家族様と交流があり、花にお茶を飲みに来たり、ウエスなどを寄贈していただいたりするなど、とても良い関係を保っている。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・過去の生活習慣や一日の過ごし方などの情報を収集したり、ご本人の訴えやご家族からの情報を積極的に得るよう努力している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・今までの生活を把握し、馴染みの生活を取り入れながら、入居開始の際には暫定プランを皆で共有し、皆で評価しながらホーム生活に慣れてゆけるよう努力をしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・お一人お一人の、一日の過ごし方を観察し介護記録に反映させ申し送りの中で話題にあげ、全スタッフで共有できるように努力をしている。 ・気になる点においては、日中と夜間においての様子を数日間評価をするなどをしてプランに反映させている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・担当を中心に、ご本人の生活障害についての課題やご家族様の声を含めて情報を収集している。 ・毎月全スタッフから、全入居者様においての気づきなどを情報を収集し、ケアプランに反映させている。 ・ケアプラン評価は、担当者を中心に一緒にいいサービス担当者会議に生かしている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケアプランの実施、結果ヒヤリ・ハット報告、ご本人の発言などを可能な限り個人介護記録に反映できるように、努力をしている。 ・記録内容においては、全スタッフが良く読みケアに生かせるよう努力をしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・旬の行事を数多く行い、外出する機会も取り入れているなど、事業所独自のサービスを重視している。 ・ボランティアや地域資源を生かした取り組みに努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近所の商店に買い物に行ったり、近くの神社や公園を利用して楽しみを広げるよう努めている。 ・地域のお祭りに積極的に参加して入居者様スタッフ共に楽しんでいる。 ・困った事があれば、地域の民生委員、地区社協、町内会の方々に気軽に相談している。 ・地域包括支援センターと何かあれば互いに相談している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・月2回の訪問診療の他に、専門医へ受診においてご家族の協力を得ながら支援している。 ・主治医から受けた情報は、必ずご家族、スタッフと共有している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・健康状態の変化も含めた情報においては、可能な限り電話や健康チェック訪問時を利用して報告をしている。生活行動面の変化においても、こまめに相談し助言を頂き支援に生かしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時の病状説明の際には、ご家族と共に同席し退院時期においても相談をしている。入院中にも、情報を得ながら退院後の生活がスムーズであるように心がけている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・体調の変化が起こり始めたり、転倒のリスク、誤嚥のリスク、認知症の進行状態を見て今後の生活動作障害なども含めて大きな変化が予測される時には、主治医の先生を同席の上ご家族との面談の機会を設けている。 ・1回目の面談の後にも、定期的な面談の場を設けてご家族様のお気持ち、意向の確認を行っている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・入居者様の状態を見て急変する可能性がある場合には、その時その時の状況に合わせてどのような対応が必要であるかを学ぶ機会を持っている。 また内部研修の中でも、急変時対応の時間をもうけている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・日中想定避難訓練を春秋一度づつ行い、地域の方にも参加していただいている。またこのとき消防設備業者に来ていただき、設備点検と職員に対しての設備仕様説明を行い、勤務者全員が火災報知機の作動させたり、消火器による消火訓練を行っている。 ・夜間想定火災避難訓練を何度も行い、全ての職員が夜間対応の訓練を行っている。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・関わる際の言葉づかいには、気をつけられるように努力をしている。言葉づかいについては、互いに注意仕合い評価をする機会をもっている。 ・居室内で過ごす際には、必ず戸を開めることやノックをして入るなどのマナーを守り支援をしている。 ・申し送りでの氏名は、居室番号を使用してプライバシーに配慮している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・特に帰宅願望などで、外出を希望される場合には希望どおりに外出をしていただき安全の為見守りをしている。 ・声掛けなどは、「～してもらってもいいですか？」と言う選択できるように支援をしている。 ・いつでも希望が言えるような環境となるように、取り組んでいる。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一日の流れの中で、日程に合わせて声掛けはしているが無理強いはいしていない、個々のしたいように、見守っている。 ・行事やレクリエーションへの参加においては、参加したくなるような関わりが出来るように努力をしている。 ・ご本人から、希望があった際にはその希望に添えるように努力をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・外出や行事などには、普段よりおしゃれな衣類を選んだり化粧などをして喜んで頂いている。 ・起床時には、鏡を見て整えられるように、女性は化粧水などをつけられるように支援をしている。 ・入浴後などにもヘアは、綺麗に整えられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・メニューを一緒に書いてもらいながら、楽しみにしていただいている。1Wに一度は、広告を見たり楽しみながらメニューを考えていただいている。 ・食事作りに参加して頂いたり、皆と一緒に食事を食べたりその中で今日は誰が作ったかを話題に挙げて、楽しんで頂いている。 ・後片付けにも参加して頂きながら、食事について談笑している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・個々の水分量、食事量を設定し個々に合わせて支援している。 ・食事量を観察し、食欲がない時好に合わない時などは、別の物を準備し支援するように対応している。 ・個々に合わせて食事形態に配慮している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後の口腔ケアは、習慣となっている。 ・口腔ケアが出来ているかどうかを記録に残し、何かの理由で出来ないときには、その都度出来るようにスタッフ間で協力し清の保持の為に努力をしている。 ・歯科医により年1度は、口腔内の健康チェックを行っている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・トイレで気持ち良く排泄が出来るように、個々の時間に合わせて誘導したりなどをして努力をしている。 ・個々の排泄パターン、行動によるサインを把握してトイレ誘導が出来るように支援している。 ・パット、リハビリパンツの使用量、失禁量を観察しそれをもとにした、支援方法を検討する機会を持っている。 ・排泄動作においては、出来るところまでは見守り、出来ない所からの支援を心掛けている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・運動の機会を持つこと、水分を1000cc以上の摂取を支援するようにしている。 ・起床時に牛乳を提供していること、個々に合わせて野菜ジュースやヨーグルトを取り入れるなどを工夫している。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・曜日、時間帯においては、細かい対応をするまでに対応はできていない。無理強いをせず、拒否などがあつた際には臨機応変に時間を変更したり、次の日に入って頂くなどの対応をしている。 ・気の合う者同士で入って頂いたり、お一人を好む方にはそのように可能な限り個々に合わせた対応をしている。 ・入浴時には、好みの湯かけや楽しいコミュニケーションを心掛けている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・個々の体調や、習慣などその時々に合わせて、お昼寝などの支援をしている。 ・夜間なども、明かりや就寝時間など個々に合わせて支援をしている。また夜間の排泄支援なども、個々に合わせて入眠状況を見ながら支援をしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・全スタッフが、全入居者様の薬の目的や副作用、用法や用量についての内服薬を把握することには至っていない。 ・臨時処方時や内服薬の変更があつた際には、処方の理由や期間、その間の注意事項などを把握できるよう努力をしている。現在取り組んでいる。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・個々に合わせて、家事参加をおすすめし参加していただいている。 ・楽しみごととして、行事や外出などできるように支援をしている。食事も喜んでいただけるように、お寿司や赤飯や混ぜご飯などの機会を多くしている。飲み物の種類やお酒などを楽しむ機会を提供している。 ・毎日皆さんで歌ったり、体操したりの時間を提供し喜んで参加して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外へは、いつでも安全に出かけて行ける様に努力している。</li> <li>・ご家族様にもご協力を得ながら、外出や外泊の機会を作っていたい。</li> <li>・地域の方との集いの場にも、出かける機会を作っている。</li> </ul>		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残念ながら、今現在お金を使う希望もなく機会がない。</li> <li>・買い物に行きたい、何か買いたいとの希望があれば、希望がかなえられる様に支援できる環境はある。</li> </ul>		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か贈物が届いた際には、電話をかけてお礼を言える機会を作り支援をしている。またご本人からのご希望があれば</li> <li>・電話やお手紙の支援をしている。年末には、年賀状を書く機会を作り、支援をしている。</li> </ul>		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔な環境となるように、掃除に力をそそいでいる。</li> <li>・テーブルの上などに、生花を置き雰囲気を変えている。</li> <li>・季節毎に、装飾を変化させて季節感を味わえるような雰囲気づくりを心掛けている。</li> <li>・話声や、物音、足音などには、気配りができるように努力をしている。</li> <li>・季節毎に室内の温度設定を考慮し、換気をしたり窓から差し込むひかりの調整も心掛けている。</li> </ul>		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に個々の意思で居場所を選んでいただいている。</li> <li>・意思があいまいな方に関しては、居心地を観察して定期的に見直しを行っている。</li> <li>・個々居心地の良い場所で過ごされていると感じます。</li> </ul>		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時には、今までの寝室の窓の位置やベッドの位置などを確認している。また可能な限り今まで使用していた馴染のあるものを置いて、生活が送れるようにご家族と共に考え配慮している。</li> </ul>		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の身体能力を考慮し支援している。居室、トイレなどの場所にも目印になりものや、足元の明かりなどの工夫し支援をしている。</li> <li>・転倒や転落など居室内の移動範囲、ベッドの高さ位置など、障害となるものなどを考えて支援している。</li> <li>・事故・ヒヤリハット報告、気づきの報告などを通して、ケアプランに反映させている。</li> </ul>		



### 目標達成計画

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	・入居者様との関わりの中で、適切な言葉を使い分けが出来ていない。	・どんな時でも、誰が聞いても感じの良い言葉遣いで関わる。	・毎日の朝礼、夕礼にて評価し合うこと。 ・毎月の会議の中でも、振り返りをして、高め合う環境にする。	3か月
2	38	・入居者様のペースに合わせた生活の支援が出来ていないことがある。	・入居者様の生活ペースを優先する。	毎日の朝礼の中で、入居者様の希望を取り入れた予定を立てる。	6か月
3	52	・もっときれいな環境が保てる可能性があり、ほこりが貯まっている場所がある。 ・大掃除だけでなく、普段から綺麗にする習慣をつけたい。	・いつも綺麗な環境を保つ。	12か月通して掃除ができる計画を立てて実施する。	12か月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。